

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部	職名 教授	氏名 石塚真子	大学院における研究 指導担当資格の有無	有		
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概 要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
生涯学習音楽指導員講習会講師		平成20年度～平成25年度	生涯学習音楽指導員C級免許取得のための講習会において、日本の太鼓の指導方法に関する講義、太鼓の実技指導等を行った。 音楽学習関係論分野 領域・科目「和楽器演習」 主催：公益財団法人音楽文化創造			
[大阪体育大学 教育学部] 教育出前講座プロジェクトにおける音楽授業実践		平成30年2月	紀伊コスモス支援学校において、音楽授業 (太鼓の授業) 実践を行った。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
教材事典 教材研究の理論と実践	日本教材学会編	p. 264, 265, 267, 269	東京堂出版	東京	平成25年9月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
「『アートとしての音楽』の学びに関する研究」	単著	財団法人音楽文化創造「音楽文化の創造(cmc)」	第70号	34頁～37頁	平成26年7月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
実践報告	「アートリンク理念に基づく研究資源の充実とそれを活かした教育実践」	共 石塚真子、杉林英彦、矢澤知行、牛山真紀子	平成24年度教育・研究報告書学部長裁量経費、愛媛大学教育学部		31頁～34頁	平成25年5月
実践報告	「生涯音楽学習としての太鼓文化創造について」	単 石塚真子	平成25年度 神戸学院大学人文学部研究推進費研究成果報告書		9頁～15頁	平成26年3月
実践報告	「『今別荒馬』の授業実践試論 民俗芸能に内在するコミュニケーションの特質に着目して」	単 石塚真子	音楽学習学会「音楽学習研究」	第13巻	99頁～110頁	平成30年3月
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内(他)	平成25年10月	日本教材学会 第25回研究発表大会	ラウンドテーブル③ 「『ある』教材、『なる』教材とは」	日本大学文理学部	シンポジスト：石塚真子 他2名	
国内(課題研究)	平成28年10月	日本教材学会 第28回研究発表大会	「『水口曳山囃子』の教材化に向けて」	盛岡大学	石塚真子	
国内(課題研究)	平成29年8月	音楽学習学会 第13回研究発表大会	「民俗芸能に内在するコミュニケーションの特質に着目した音楽授業実践について ～『今別荒馬』の音楽授業への援用可能性を中心に～」	埼玉大学	石塚真子	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)	
科学研究費	基盤研究 (C)	民俗芸能に内在するコミュニケーションの特質を援用した音楽授業実践モデルの構築	代表	平成29年度～平成31年度	3,900,000円	
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国
III 加入学会および社会における活動						
期 間		内 容				
加入学会						
平成 8年 6月		日本音楽教育学会会員 (現在に至る)				
平成 10年 8月		日本教材学会会員 (現在に至る)				

平成 12年10月	東洋音楽学会（現在に至る）		
平成 15年 6月	日本民俗音楽学会会員（現在に至る）		
平成 17年 7月	音楽学習学会（現在に至る）		
社会的活動			
IV 管理活動			
期 間	内 容		
委員会活動			
特別プロジェクト活動			
V クラブ活動の指導業績			
1. 指導クラブ名	部	2. 役職	3. 部員数 人
4. 現場指導の頻度	選択 ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない		
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数： 日
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない	
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない	
8. 部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない	
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）			
開催期間	大会名	成 績	場 所
VI 賞罰（職務に関する賞罰）			
年 月	受賞等機関名	内 容	備 考